

**2022（令和4）年度  
自己評価報告書**

**秋田ヘアビューティカレッジ**

## I 教育理念、教育目的、育成人材像

### 教育理念

- ①「人格の完成」、「心身ともに健康な国民の育成」とともに職業人としての専門的知識と技能を修得させ、国家、社会に寄与できる人材の育成を図る。
- ②わが国の伝統と文化を尊重し、国土を愛し、国際社会の平和と発展に寄与できる人材の育成を図る。

### 教育目的

本校は、学校教育法及び美容師法に基づき、美容師並びに美容業に必要な知識と技術を習得させ、美容業界の向上と発展に寄与するとともに、地域社会に貢献し得る人材の養成を目的とする。

### 育成人材像

優れたコミュニケーション能力と社会生活における基本的規範を身につけ、あわせて美容の専門的知識と実践的技術を兼備し、地域社会における美容業を活性化し得る美容師を育成する。

## II 重点目標

1. 入学者数確保による財務基盤の安定
2. 新型コロナウイルス感染状況を鑑みた、課外活動・諸活動の再開による教育事業の正常化

## III 自己評価項目の設定

別紙「自己評価シート」の通り

### Ⅲ 自己評価項目の設定と自己評価結果（評価項目の達成及び取組状況）

（適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1）

#### 1. 教育理念・目的・育成人材像

評価項目		評価
1	教育理念、目的、育成人材像は定められているか（職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか）	4
2	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
3	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・関係業界・保護者等に周知されているか	3
現状分析・課題		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容業界は日々変化する分野であることから多角的な視点から社会のニーズを常に注視する必要がある。</li> <li>・公式ウェブサイトや学校案内、SNS 等を通じて教育理念・教育目的・育成人材像・特色を発信している。</li> </ul>		
改善策		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の状況にもよるが、様々な業種との交流を企画実施して社会のニーズを見出す力を養う。</li> <li>・社会のニーズをより把握するため、同窓会をはじめとした様々な美容業界との交流を企画する。</li> <li>・引き続き SNS の他に学生、関係業者、保護者のそれぞれに有効な周知方法を検討する。</li> </ul>		

## 2. 学校運営

評価項目		評価
1	運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか	4
2	事業計画を作成し、執行しているか	4
3	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
4	人事・給与に関する規程等は整備されているか	4
5	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3
現状分析・課題		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎年事業計画書を作成し、成果・結果を事業報告書として公開している。</li> <li>・ 組織は校長を中心に各担当主任を配置して有効に機能している。</li> <li>・ 給与規程を整備し運用している。</li> <li>・ 学生募集の入試業務について情報システム化が図られた。</li> </ul>		
改善策		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織の強化を図りさらなる学校運営の改善を推進する。</li> </ul>		

### 3. 教育活動

評価項目		評価
1	教育理念、教育目的及び育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
4	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
5	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
6	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
7	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
9	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
10	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
11	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
12	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
13	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3
現状分析・課題		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念、教育目的、育成人材像を定め、さらに教育目標を設定してシラバスを整備している。</li> <li>・教科課程編成委員会の意見も取り入れて継続的にカリキュラムの見直しを行っている。</li> <li>・コロナ禍であったが十分に安全を確保しながら企業と連携した実務実習を実施した。実施日数の見直しについては検討課題。</li> <li>・年度末に授業評価を実施し評価結果を教員に共有している。</li> <li>・企業や業界との連携により新たに教員を確保している。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症による影響もあり教員や職員の研修を計画通りに行うことが難しい中セミナー動画の視聴を行った。</li> </ul>		
改善策		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策を優先した上で育成人材像を意識した柔軟な授業運営を行う。</li> <li>・研修動画の視聴回数を増やすことその他、情勢緩和による通常研修の再開。</li> </ul>		

#### 4. 学修成果

評価項目		評価
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3
現状分析・課題		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 過去4年間の就職率（就職希望者数に対する就職者数の割合）は毎年度100%を達成している。</li> <li>・ 第43回と第45回の国家試験において合格率100%を達成した。</li> <li>・ 今年度より年3回の個人面談を実施し退学低減に努めた。</li> <li>・ 専門課程（昼間）の退学者は0名。通信課程は1名（2021年度分）</li> <li>・ 卒業生の就業調査を年3回実施（6月、9月、2月）</li> </ul>		
改善策		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就業調査の結果を基に教育活動の改善に活かす。</li> </ul>		

## 5. 学生支援

評価項目		評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5	学生の生活環境への支援は行われているか	4
6	保護者・保証人と適切に連携しているか	4
7	卒業生への支援体制はあるか	3
8	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
現状分析・課題		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路・就職・学生相談の体制は整備されている。また、経済的な支援体制も概ね整備されている。</li> <li>・健康管理、生活環境、保護者・保証人との連携は複合的に関連しており、個々のケースについて職員間で最善策を話し合い対応している。</li> <li>・今年度より年3回の個人面談を実施。</li> <li>・今年度より卒業生支援として「きららサポート」を制定した。</li> <li>・キャリア教育・職業教育のセミナー出席など、高校等からの依頼に応じて適切に行っている。</li> </ul>		
改善策		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き保護者等と適切に連携し、学生の健康や生活への支援を行う。</li> <li>・引き続き県や各種機関とも連携し現代社会に必要な情報収集と学生支援を行う。</li> </ul>		

## 6. 教育環境

評価項目		評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2	校外の実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4
現状分析・課題		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予算と優先順位により必要な施設設備の改修を進めている。</li> <li>・ 今年度より研修旅行を再開した。</li> <li>・ 適切な防火管理者を選任し、さらに消防計画の見直しと更新を行った。</li> <li>・ 劣化したシャンプー台の修理整備・必要に応じた施設内修繕を実施。</li> </ul>		
改善策		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後も緊急性の高いものから優先的に補修を計画する。</li> <li>・ 今後も協定書を締結した企業等との連携を確保し関係強化を推進する。</li> </ul>		



## 7. 学生の受入れ募集

評価項目		評価
1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	4
2	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4
3	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4
4	学納金は妥当なものとなっているか	4
現状分析・課題		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により一定の制限はあったが、前年度と比較して面会での情報提供による取り組みを行えた。</li> <li>・最新の資格取得結果や就職状況等についてまとめて随時正確に伝えている。</li> <li>・入学選考においても適正かつ公平に実施された。</li> <li>・教材費・道具費が高騰していることについては慎重な判断が必要。</li> </ul>		
改善策		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後更なる感染症対策緩和が見込まれることにより、高等学校等との関係を強固にする取り組みを行う。</li> <li>・学生募集の体制をさらに強化し継続して安定した入学者の確保を行う。</li> </ul>		

## 8. 財務

評価項目		評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備と運用は適切か	4
現状分析・課題		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入学者数の増加で財務が改善したが継続してさらに安定した状態にする必要がある。</li> <li>・ 今年度は学校案内パンフレットと公式ホームページの更新を行ったため、当初例年より広報費を多く組み込んだが、ガイダンス等の参加も増えたため補正予算を組んだ。</li> </ul>		
改善策		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入学者数を確保するために引き続き学生募集活動の強化を図り、同時に魅力的な教育環境の整備を推進する。</li> <li>・ 今後老朽化した校舎の維持、将来性については複合的に検討する。</li> </ul>		

9. 法令等の遵守

評価項目		評価
1	法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか	4
4	教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか	4
現状分析・課題		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護対策の目的も含めて校内ネットワーク環境の改善に取り組み、新しい端末の整備を行った。</li> <li>・定期的なデータバックアップで情報紛失に備えた。</li> </ul>		
改善策		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き本校における教育活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、問題点の改善に努める。</li> </ul>		

10. 社会貢献・地域貢献

評価項目		評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4
現状分析・課題		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、情勢を見ながら昨年度同様の学生ボランティア活動を実施した。</li> <li>・公共職業訓練（高度人材育成コース）の受託を継続。</li> </ul>		
改善策		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の安全を第一に考えながら、緩和される感染症対策の情勢を注視し、社会貢献・地域貢献の再開を目指す。</li> </ul>		